

提案に当たって

神奈川県政の推進につきましては、日頃から格別のご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

現在、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、社会全体の働き手が減少していく中、限られた人的資源で質の高い県民サービスを維持していくためには、デジタル技術の活用が重要です。

本県では、昨年3月に策定した総合計画「新かながわグランドデザイン」において、目指すべき4年後の姿として「県民目線のデジタル行政でやさしい社会の実現」を掲げ、防災や医療などの県民生活に直結する様々な分野でデジタルの力を活用し、DXを推進することとしています。

令和7年度当初予算は「新かながわグランドデザイン」に掲げる施策を着実に推進するための予算として編成し、子ども・子育て支援や脱炭素社会の実現に向けた取組などのあらゆる分野について、デジタルの力を活用しながら県民目線に立った行政運営を行うことで、誰もが安心して暮らせるやさしい社会の実現を目指していきます。

一方で、こうした本県の取組を着実に進めるためには、国による施策・制度の改革が必要なものが少なくありません。

そこで、国の施策・制度・予算に関する提案をとりまとめましたので、是非、ご理解をいただき、令和8年度の予算編成及び施策の展開に当たり、特段のご配慮とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年6月

神奈川県知事 黒岩祐治